

SDGs推進に係る取組について

復興・総合計画課

はじめに

福島県では、令和4年4月に新しい「福島県総合計画」がスタートしました。総合計画とは、県づくりの指針や施策を示す県の最上位計画です。

計画では世界の共通言語であるSDGsの視点を取り入れ、福島県に心を寄せる人々との連携・協働を深めながら、福島県の復興・創生を着実に前に進め、「持続可能で豊かなふくしま」の実現を目指しています。

1 SDGs(Sustainable Development Goals/エスディージーズ)とは

世界が抱える課題を解決し、誰一人取り残さない、多様性と包摂性(※)のある持続可能な社会の実現のため、平成27(2015)年の国連サミットで決定した国際社会の共通目標です。目標は「貧困」「保健」「エネルギー」「気候変動」など17の目標と169のターゲットが示されており、それらの目標を2030年までに達成することを目指しています。※「包摂性」:誰一人取り残さないという考え方のこと

2 SDGsの視点で描く、「ふくしまの将来の姿」

本県は、震災・原発事故という未曾有の複合災害に伴う広域的避難からの帰還環境の整備や生活・生業の再生、福島イノベーション・コースト構想の推進、根強い風評との闘いなどの復興の取組と、急激な人口減少などの全国共通の課題への取組を同時に進める必要があります。これは持続可能な社会を目指すSDGsの方向性と一致しています。

福島県総合計画では、本県に心を寄せる人々との連携・協働を深めながら、普遍的な課題に照らして県づくりの方向性を示すため、SDGsの17の目標ごとの視点で「ふくしまの将来の姿」を描いています。

(具体例)

<p>3 すべての人に健康と福祉を</p> 	<p>すべての人に健康と福祉を</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 若い世代から高齢者まで県民一人一人が心身ともに健康な生活を送っている <small>など</small> 	<p>4 質の高い教育をみんなに</p> 	<p>質の高い教育をみんなに</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 震災の記憶の継承や復興への取組を基に、郷土への理解が進んでいる <small>など</small>
---	---	--	---

そのほかの項目は「福島県総合計画」p.38-39をご覧ください。

3 ふくしまSDGs推進プラットフォームとは

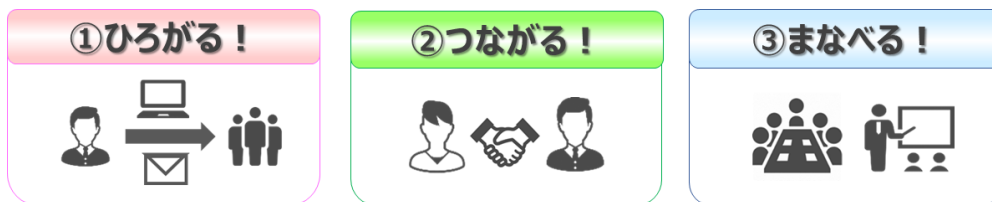
(1)プラットフォームの目的

持続可能な社会を目指すSDGsの推進においては、SDGsの達成に向けた取組が、幅広い分野や地域で展開されることが重要です。「ふくしまSDGs推進プラットフォーム」は、世界の共通言語であるSDGsを入り口(きっかけ)として、本県で活躍する産官学共金労言の様々な団体の連携・協働の機会を創出し、豊かな県づくりを推進するための活動の場です。

当プラットフォームは既存の団体等の取組を尊重し、会員の皆様の取組をサポートします。会員相互の情報発信や共有・交流を通じて、新たな取組や事業の創出など、多様な団体の連携・協働により、県内のSDGsの取組を大きなうねりにつなげていきます。

(2)プラットフォームの活動内容

前述の目的を達成するために、プラットフォームでは SDGs に関するシンポジウム(フォーラム)・セミナー等イベントの開催や、会員相互の SDGs の取組の発信、会員間の連携やマッチングの支援などを実施します。



① ひろがる

本県が運営するホームページに会員情報や SDGs の達成に向けた取組が掲載されるため、対外的な PR の場として活用いただけます。また、セミナーやワークショップなどで会員の取組を共有し、取組の横展開を目指します。

② つながる

会員から提出いただいたマッチングリクエストシートをもとに、課題を抱える会員と、課題の解決策やノウハウを持つ会員とのマッチングをサポートします。会員の取組を後押しする顕彰(アワード)も実施します。

③ まなべる

セミナーやワークショップへの参加の他にも、会員が主体の分科会の提案・設置、設置された分科会への参加が可能となります。各会員の知見の共有、異分野連携・官民連携による新たな取組や事業の創出を目指します。

(3)プラットフォームへの入会について

対象者はプラットフォームの設置目的に賛同し、県内でSDGs推進に取り組む、又は関心がある団体(任意団体を含む)です。県ホームページに掲載されている会員登録申込書兼誓約書に必要事項を入力し、事務局(県庁復興・総合計画課)にご提出ください。

おわりに

総合計画が目指す将来の姿の実現には、県民の皆さんを始め、本県に思いを寄せてくださる方々と連携・協働を深めながら、それぞれの役割の下、力を合わせて取り組んでいくことが重要です。

SDGs の17の目標だけでなく、福島県は18番目の福島オリジナルの目標「複合災害から福島を復興させよう」を掲げております。震災・原発事故からの復興はいまだ途上であり、さらには、急激な人口減少や自然災害、新型コロナウイルス感染症への対応など、本県は多くの困難と課題を抱えています。

しかし、この困難の中にあっても、福島が復興を成し遂げることができれば、「努力を重ねることで SDGs を実際に形にすることができる、困難を乗り越えることができる」という大きなメッセージになると考えています。18番目の福島オリジナルの目標を、県内外の多くの方々と共有しながら、復興を成し遂げるための挑戦を続けていきます。

